

研究機関：広島大学

研究課題名	食道癌に対する強度変調回転照射と生物学的線量分布の検討
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究科放射線腫瘍学 講師 村上祐司
研究期間	2018年4月26日(倫理委員会承認後)～2020年12月
対象者	2010年1月から2017年12月の間に、広島大学病院で食道癌に対する放射線療法併用手術を受けられた方のデータを使用します。
意義・目的	食道癌に対する化学放射線治療後の晩期心臓毒性が問題となっています。これまでは、高精度治療である強度変調放射線治療(IMRT/VMAT)技術をもってしても、肺野への線量拡大を抑えつつ、心臓への線量低減を行うことは困難であったため、食道癌へのIMRT/VMATの導入は困難と考えられてきました。しかし、近年の治療計画装置の進歩により、さらに高精度かつ高効率な治療計画が可能となってきました。本研究では、最新放射線治療計画ソフトを使用し、胸部食道癌に対する標的線量集中と心臓線量低減を達成しつつ肺野への低線量域拡大を保持する高精度VMAT技術を開発することを目的とします。
方法	本研究は、全て治療計画装置に保存されている治療情報を使用して行います。使用するデータは、治療計画CTおよび照射情報です。画像データを使用し、新たな治療計画ソフトにてVMAT治療計画を立案し、物理データを従来法と比較検討します。(個人が特定出来る情報は転記しません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学医歯薬保健学研究科放射線腫瘍学 講師 村上祐司
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel:082-257-1545 広島大学病院放射線治療科 講師 村上 祐司